

平成28年度南国市教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価について

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要性が高いものと考えられます。このようなことから、平成19年6月に公布された、地教行法の一部改正において、教育委員会の行政の執行状況について、点検・評価を実施することが義務づけられました（地教行法第26条）。

また、この点検・評価は、教育行政の基本的な方針の策定等と同様に、教育長に委任せず教育委員会が管理・執行しなければならない事務として位置づけられました（地教行法第25条の2）。

法の趣旨に則り、教育行政の透明性をさらに高めることができるよう、平成20年度から南国市教育委員会の自己点検・評価を実施し、公表を行っています。

平成22年度から教育委員会事務局に幼保支援課が設置され、保育所(園)について所管していましたが、平成28年度からは、市長部局に子育て支援課が新設され保育所(園)の所管が遷ることとなりました。

平成29年2月

南国市教育委員会

○評価の見方について

教育委員会にとって注目すべき課題を見つけつつ評価をしていくという趣旨で、「小項目」について3段階又は4段階のマトリックスで評価を行いました。

マトリックス評価の例を下に示していますが、「教育委員会の活動及び管理・執行する事務」については(例1)のとおり、「重要度」(横軸)と「実現度」(縦軸)の3段階のマトリックス評価を行っています。①は、「重要だが、実現度が低いもの」であり、「特に注目する課題」ととらえることができます。(色の濃いセルほど注目する課題といえます。)

また、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の項目では、南国市事務事業評価に則って(例2)のとおり「重要度」(横軸)と「成果度」(縦軸)の4段階のマトリックス評価を行っています。

なお、例3に示しているとおり必要に応じて評価・点検欄に事業内容や特記事項等を記入しています。

(例1)

↑

実現度

			■
	■		■
■	■	■	①

重要度 →

実現度：3段階（「実現できた」、「やや実現できた」、「実現できなかった」）

重要度：3段階（「重要」、「やや重要」、「やや重要でない」）

(例2)

↑

成果度

				■
			■	■
	■	■	■	■
■	■	■	■	②

重要度 →

成果度：4段階（「成果は高い」、「成果はやや高い」、「成果はやや低い」、「成果は低い」）

重要度：4段階（「重要度は高い」、「重要度はやや高い」、「重要度はやや低い」、「重要度は低い」）

(例3)

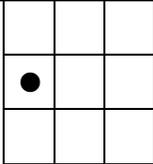
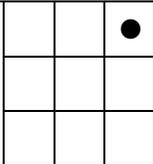
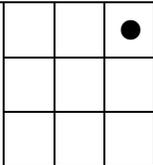
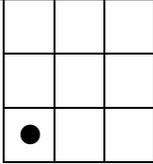
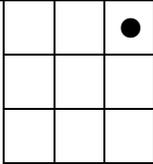
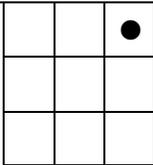
中項目	小項目	点検・評価	
③子どもの心をたかやまず食育の充実	食育フォーラム	実現度↑	●
		→重要度	
		<p>点検・評価</p> <p>○2月14日にグレース浜すしにて開催。○○○名の参加があった。</p> <p>○お弁当の絵コンテストには、○○○○枚の応募があり、○○点の表彰を行った。</p> <p>○講演会は「“弁当の日”がやってきた」（講師：○○中学校○○○○氏）、パネルフォーラムは「食の自立をはぐくむお弁当づくり」をテーマとし行った。</p> <p>○南国市の食育の推進につながる講演及びパネルフォーラムの実施ができた。</p>	

1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点検・評価		
(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度 ↓	■	○定例会を11回、臨時会を1回開催した。(平成29年2月21日現在)
	②教育委員会会議の運営上の工夫		■	
(2) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度 ↓	■	○定例会での情報・意見交換会の他、適宜情報伝達を行った。
○研修会への参加状況	→重要度		■	
	(3) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度 ↓	■
(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問等	実現度 ↓		■
	②所管施設の訪問等		■	→重要度

2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	点検・評価	
(1) 委員会の行政重点目標の設定に関すること		<p>○年度当初に教育行政方針を決定し、南国市教育研究大会にて全教職員に方針及び趣旨を伝え、周知徹底を図った。</p>
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること		<p>○平成28年度はなかった。</p>
(3) 教科用図書の新採択方針に関すること		<p>○平成28年度はなかった。</p>
(4) 研究員及び内地留学生の選考に関すること		<p>○南国市立教育研究に専任主事1名(十市小学校より)を、市教委の研究方針と照らし検討、人選し、新たに配置した。 ○教職員育成のための内地留学生3名(高知大学と鳴門教育大学)を派遣した。</p>
(5) 事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること		<p>○南国市立小中学校主任の承認(4月)。 ○特別支援教育支援員20名を小中学校14校に配置した。 ○ICT支援員2名を小学校2校に配置した。 ○学力向上スーパーバイザー(国語・算数・数学・理科・外国語)5名を学校に配置した。</p>
(6) 教職員の異動方針に関すること		<p>○高知県教育委員会の異動方針に基づき、学力向上及び特色ある学校づくりに向けた人材配置に努めた。 ○平成29年度の各校の教員人事について、各学校長とヒアリングを実施し、学校長の意向を尊重した人事を検討した。</p>

<p>(7) 学校その他の教育施設の長期にわたる目的外使用に関すること</p>		<p>○鳶ヶ池中学校学校林地内における、占用許可及び樹木伐採許可。 (申請者：四国電力株式会社 占有場所：香美市土佐山田町北滝本 占有物件：電柱6本、支線8本 占有期間：平成24年9月30日～平成29年9月30日まで)</p>
<p>(8) 委員会の附属機関の委員の任免に関すること</p>		<p>○南国市調査専門委員会委員の委嘱（4月委嘱 任期1年） ○南国市奨学金奨学生選考委員会委員の委嘱・任命（4月委嘱・任命 任期2年） ○南国市公立学校通学区審議会委員の委嘱・任命（4月委嘱・任命 任期2年） ○南国市立公民館長の委嘱・任命（4月委嘱・任命 任期2年） ○南国市社会教育委員の委嘱（4月委嘱 任期2年） ○南国市教職員衛生委員会委員の委嘱・任命（4月委嘱・任命 任期1年） ○南国市少年育成センター補導委員の委嘱（4月委嘱 任期2年） ○南国市少年育成センター運営委員の委嘱（4月委嘱 任期1年） ○奈路小学校及び白木谷小学校運営協議会委員の委嘱（4月委嘱 任期2年） ○南国市立図書館協議会委員の委嘱（4月委嘱 任期1年）</p>
<p>(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること</p>		<p>○平成29年度当初予算編成方針についての確認を行った。（11月）</p>
<p>(10) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第40条の規定による公民館の事業又は行為の停止に関すること</p>		<p>○平成28年度はなかった。</p>
<p>(11) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること</p>		<p>○大篠小学校の児童数急増のための対策として、南国市公立学校通学区審議会を4回開催し、平成27年度に開催した南国市立大篠小学校及び周辺校の児童数に係る諮問会議で検討してきた『大篠小学校隣接校選択制度』を制定した。 ○本年度は新入学生12名、在校生2名、計14名が本制度を利用した。</p>
<p>(12) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと</p>		<p>○南国市就学指定校変更事務及び区域外就学事務取扱要綱の一部改訂について（7月）</p>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 就学前の保育・教育、学校教育に関すること

中項目	小項目	成果度 →重要度	点検・評価												
①市民に信頼される開かれた保育所・保育園・幼稚園・学校経営の推進	幼稚園、保育所・保育園行事	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○夕涼み会、おじいちゃん・おばあちゃんの日の集い等、幼稚園、保育所・保育園で実施。</p> <p>○地域との積極的な交流を図ることにより、地域に愛される幼稚園、保育所（園）作りを推進した。</p>
				●											
開かれた学校づくり推進委員会	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○各校・園では、開かれた学校づくり推進委員会を設置し、地域に開かれた学校づくりを推進。</p> <p>○2月に活動の集約を行い、3月には「南国市各幼小中学校（園）研究のあゆみ」に掲載。</p>	
			●												
学校運営協議会 (奈路小学校・白木谷小学校)	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○平成19年度から南国市立奈路小学校を、平成25年度から南国市立白木谷小学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）として指定。</p> <p>○目的：学校運営に保護者・地域住民等が一定の権限及び責任を持って参画をする。学校・家庭及び地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、一体となった取組を推進することによって、特色のある学校・地域としての活性化を図る。</p> <p>・奈路小学校学校運営協議会 第1回（4/13）、第2回（7/14）、第3回（10/20）、第4回（11/17）、第5回（12/15）、第6回（2/7予定）</p> <p>・白木谷小学校学校運営協議会 第1回（5/11）、第2回（9/7）、第3回（2/3予定）</p>	
			●												
学校評価	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○南国市学校評価ガイドラインを作成し、学校評価の効果的な取組（PDCAサイクルの確立）を推進。</p> <p>○南国市保幼小中連携学力向上推進プランの策定に基づき、中項目に、授業改善、規範意識の育成、家庭学習の定着を必須に設定。</p>	
			●												
②学力の向上等を図る保育・教育の充実	保幼小連絡協議会	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○「いきいきと学び、意欲のある子どもを育てるための保幼小の連携のあり方について」をテーマに開催。</p> <p>○5月には「学びや育ちをつなぐカリキュラムの在り方」をテーマに講演を行い、小学校校区を中心とした小集団でグループ協議を行った。</p> <p>○夏季休業を利用し保育士体験を実施する小学校の増加や、年長児保護者を対象に小学校説明を行う園所の増加など、保幼小連携の内容がより充実してきた。</p>
			●												

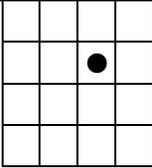
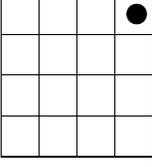
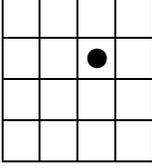
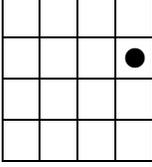
<p>南国市幼児教育研究会</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>○研究会の運営や公開保育の役割分担等について、年間3回の理事会を開催し協議することで自主的・計画的に研究や実践を進めることができた。</p> <p>○幼児教育研究会 公開保育（11/16）里保育所</p> <p>○教育研究大会（2/1）では、里保育所が実践発表を行う。</p>
			●															
<p>小中連携学力向上プロジェクト事業 （指定校：管内全小中学校） ※地域アクションプラン補助対象事業</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>○4 中学校ブロックへの研究指定。（平成20年度より取組、第3期3年目の年度）</p> <p>○目的：全国学力・学習状況調査結果及び到達度把握検査結果等の分析を基に、ブロックごとの児童生徒の課題を明らかにして小・中連携による学力向上対策及び不登校対策・児童虐待予防対策を核とした生徒指導の充実を図る。（PDCAサイクルの確立）</p> <p>○内容 ①小中連携学力向上推進委員会 ②先進モデル校視察研修（7/11・12 福井県） ③小学校外国語活動支援等の派遣 ④実践交流会（1/5）等</p> <p>○南国市保幼小中連携学力向上推進プランを中心に、平成20年度からの9年間の取組についての成果が見られた。</p> <p>○実践交流会では、全教職員研修として、香長中ブロックの実践報告と、チームとして取り組む事の大切さに関しての研修を実施できた。</p>
			●															
<p>教育課程拠点校事業 （県指定校：大篠小） ※平成28～30年度県指定事業 3期目</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>○目的：小学校新学習指導要領に則した算数の教育課程の編成や、実施、評価についての先導的な役割を担う学校づくりの推進。</p> <p>○研究内容 ①算数科の指導方法の工夫改善（授業づくり、教材研究、授業評価の活用） ②学習習慣の確立と学力定着を補完する取組の研究 ③各種学力調査・学力向上の取組における結果分析資料づくり</p> <p>○10/20（木） 大篠小学校教育課程拠点校指定校事業発表会開催。</p>
			●															
<p>中学校学力向上実践モデル事業 （指定校：北陵中） ※新規事業</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>								●									<p>○目的：全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査、学校評価等の分析結果から見られる課題を組織的に解決するための具体的かつ効果的な方策等を示した「学校経営計画」を作成し、学力向上のためのPDCAサイクルを確立させる。また、「学校経営計画」を踏まえた「授業改善プラン」を作成し、授業改善の取組を推進する。</p> <p>○主な研究内容</p> <p>①国語科・社会科・数学科・理科・外国語（英語）の5教科については、学力調査等から見られる課題解決に向けた取組の効果をはかることができるような評価問題を、定期テスト等に位置付け実施することで、日々の授業実践を充実させる。</p> <p>②「学校経営計画」や「授業改善プラン」に基づく思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業を公開する。</p> <p>○11/18（金） 中学校学力向上実践モデル事業発表会開催。</p>
			●															

<p>全国学力・学習状況調査</p> <p>到達度把握・授業評価システム推進事業</p>	<p>成果度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○全国学力・学習状況調査（4月19日実施）調査対象：市内全小学6年生、中学3年生。</p> <p>○到達度把握調査（4月と12月～1月に実施）分析結果を校長会にて報告。</p> <p>○到達度把握調査結果で課題の大きかった学校は、年度末にも到達度把握調査を実施。</p> <p>○全国学力・学習状況調査の分析結果等を踏まえた今後の取組について、各校共通分析シートに基づいて実施し、特に課題の大きかったところについては指導主事が学校訪問をし、1月の高知県学力定着状況調査に向けての具体的なアドバイスを行った。</p>
			●															
<p>英語教育強化地域拠点事業 （指定校：香南中学校ブロック）</p> <p>※平成26～29年度文部科学省指定事業</p>	<p>成果度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○香南中ブロック3校（香南中・日章小・大湊小）研究指定。</p> <p>○内容：小学校第2学年で週1コマの外国語活動を実施。第4学年で週2コマの英語科の授業を実施し、教科としての「英語科」を新設し、学習内容の系統性、指導方法の継続性及び「読む・書く」指導の段階的な導入をさらに研究することで、小中校の滑らかな接続と発達段階に応じた育成を図る。平成27年度からは、小学校第1学年で週1コマの外国語活動を実施。平成28年度からは、小学校第1・2学年で週①コマの外国語活動、3学年で週1コマの英語科、第4・5・6学年で週2コマの英語科の授業を実施。</p> <p>○主な取組</p> <p>①児童生徒・教職員への意識調査（年2回）・児童英検（1/24）・英語検定の実施（年2回）。</p> <p>②公開授業（年7回）○高知西高校の英語教員が3校でそれぞれ授業を実施。</p>
			●															
<p>特別支援学級等専門家活用事業</p> <p>※新規事業</p>	<p>成果度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○本年度は一人2校受け持つ（長岡小・久礼田小、後免野田小・岡豊小、鳶ヶ池中・北陵中）とともに、拠点校以外からも校内研や児童の見取りと具体的な指導方法のアドバイスを求めてきた学校へ講師派遣を行った。</p> <p>○目的：インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育を推進していくため、障害のある児童等に対して、その状況に応じて提供する「合理的配慮」の実践事例を蓄積するとともに、適切な「合理的配慮」のための校内体制を整備する。さらに、その中でも、「知的障害特別支援学級」の学級担任の指導力向上を図ることを中心に実施。</p> <p>○合理的配慮協力員3名の配置：西岡ゆき子、川上靖美、西山恵子</p> <p>○毎月1回「合理的配慮協力員の会（合の会）」を開催し、各校での取組の現状把握等情報共有を行うとともに、各校の特別支援教育の充実に向けて、現在課題となっていることの確認をしながら、各校への啓發文書（めだかの学校）を作成</p> <p>○1/27 第96回愛媛教育研究大会（愛媛大学教育学部附属特別支援学校）研修会に参加。</p>
			●															

	<p>南国市教育研究会</p>	<p>成 果 度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○教育研究会（総会）4/13、教育研究会（教科等）6/15、教育研究会（教科外等）8/22、教育研究大会（教科等）2/1 年間4回実施した。 ○研究や実践のまとめとして、第56集「紀要」を3月に発行予定 ○研究協力校研究発表会 日章小学校 1/27 「自ら意欲的に学ぶ子どもを育てる ○委託研究に関し研究をより充実させるため、教科等研究会(10)、教科外等研究会(10)、その他研究会(6)と組織の改変を行った。また、委託期間を単年度とし負担軽減を図った。</p>
			●																
	<p>図書館支援員の配置</p>	<p>成 果 度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○臨時的任用職員として各小中学校 14校に9名の支援員を配置。 ○雇用期間：平成28年4月1日～平成29年3月22日 ○業務内容：児童生徒の読書活動の推進及び環境整備等。</p>
			●																
	<p>スーパー食育スクール事業 （県指定校：十市小学校）</p>	<p>成 果 度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○研究主題 食育の実践から「ことば」の力を高める～主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブラーニング）を通して～ ○朝食を含む基本的な生活習慣の改善により、学習意欲の向上を図る。 ○生活科・総合的な学習の時間を中心として、主体的・協働的に学ぶ食に関する指導の授業実践により、生活習慣の改善と「ことばの力」の向上をめざす。 ○研究発表会：平成28年11月29日（火）</p>
			●																
	<p>放課後等学習支援事業</p>	<p>成 果 度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○放課後の加力学習を実施できるよう支援員を派遣し、教職員とともに努力を要する学力層を中心に学力の定着を図ってきた。また、夏期休業中の加力学習にも支援員を派遣し、教職員とともに指導に当たることでよりきめ細やかな個別支援を行える体制を整えた。 ○今年度は小学校9校、中学校4校で実施した。</p>
			●																
<p>③心の教育を支える保 育・指導の充実</p>	<p>安心・安全な学校プロジェクト （指定校：管内小中学校） ※地域アクションプラン補助対象事業</p>	<p>成 果 度 ↓</p> <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○小中連携した安心・安全な学校作りを推進するために、小学校と中学校のいじめ・不登校対策（積極的な生徒指導）の取組の推進と南海トラフ地震等の防災教育の確立を目指す。 ・Q-Uアンケートの活用、引き継ぎシートの活用等の積極的な生徒指導を実施した。 ・不登校等学習支援員3名の配置：香長中・北陵中学校の別室登校の生徒への学習支援を行った。 ・生徒会活動の活性化を図るための支援を行っている。7月に高知県児童会生徒会交流集会を実施。中部地区の各小中学校の児童会及び生徒会の取組の発表と活発な意見交換が行われた。 ○8/27～8/29で南国市・岩沼市小中交流事業を実施。児童生徒8名、教職員8名（うち2名は別事業「高知県実践的防災教育推進事業」の中から経費負担）、学校事務職員1名、事務局1名の、合計18名を派遣。8/8・8/17に事前研修、11/24に報告会を、南国市上下水道局にて開催。 ・8/8の事前研修会では、南国市防災教育研究会とタイアップして高知工業高等専門学校環境都市デザイン工学科 岡林宏二郎教授に地震や地震災害に関する基礎研修を受けた。 ○8/23に「みんなで守る大切な命」と題して、帝塚山大学教授 神澤 創 先生による自殺予防教育の講演を行った。また、12/27に教職員を対象に 四天王寺学園 阪中順子 カウンセラーによる「ゲートキーパー養成研修」を行った。</p>
			●																

<p>南国市人権教育研究大会</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○8/23に大篠小学校及びグレース浜すしにて開催。 ○分科会における実践発表は、保育所(園)3本、小学校12本、中学校5本、その他1本合計21本の実践報告があった。 ○研修会は、「みんなで守る大切な命」と題して、帝塚山大学教授 神澤 創 先生による自殺予防教育の講演を行った。また、中山 まさともさん、つかささんによる「人権漫才」を行った。 ○分科会では実践発表をもとに、保幼小中の連携について交流ができた。 ○本年度は昨年度と同様、助言者10人を確保。様々な分野からの専門意見を聞くことができた。</p>
			●															
<p>不登校対応等担当者会</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○不登校対応の中核的な働きをしている小中学校の担当者が一堂に会し、学校相互の不登校対応に関する情報交換を行い、全市的な不登校対応の一層の充実・強化を図る。 ・第1回5/10：平成27年度末不登校児童生徒の状況報告 ：高知県立療育福祉センター発達支援部 野々宮 京子チーフによる講演 ・第2回9/15：南国市長欠児童生徒調査結果報告、島内SCによる事例研究 ・第3回12/8：南国市立小中学校の教員3名及び西森SSWによるパネルディスカッション ・第4回2/21 予定：中学進学に向けての中学校単位での情報交換 ○参加体制：各学校担当者(代表)、ふれあい教室、教育研究所、市教委(指導係)、SSW ○内容：担当者を集めての研修及び小中連携による情報共有</p>
			●															
<p>スクール・ソーシャルワーカー(SSW)活用事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○学校だけの対応及び支援では、学校復帰等の改善が図りにくい児童生徒に対して、学校や教職員への支援及び保護者・児童生徒への直接的な支援を行う。(平成20年度から実施) ○加藤SSW(香南中・鶯ヶ池中ブロック)、西森SSW(香長中ブロック)、奥宮SSW(北陵中ブロック)が学校の対応が困難なケースを優先順位の中から対応してきた。 ○OSSWの対応で、教職員、保護者の安心感につながっている。適応指導教室等の関係機関との連携により完全不登校から担任と関わり始めるなど、児童生徒に変化が現れている。 ○今年度より、就学前の子どもたちへの支援として、保育所・幼稚園にもSSWの配置をしている。西森SSWと奥宮SSWに週に2回程度、保育所・幼稚園の保育者や保護者とかかわってもらい、小学校へのつなぎを行っている。また、保健福祉センターやこども相談係などとも連携し、多面的・多角的な支援をしている。</p>
			●															
<p>適応指導教室(ふれあい教室)</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								●									<p>○南国市内に在住する不登校の状態にある児童生徒に対し、主体性を大切にした体験学習を通して、「心の居場所」をつくり、集団生活への適応と自立を促すための援助や指導を行う。 ○運営委員会 第1回6/23(木)、予定：第2回2月(未定) ○連絡会(定期4回) 4/26、7/15、10/11、3/10 ○夏期休業中学校訪問 研究所長と全学校訪問聞きとり ○野外活動(梅とり、サイクリング、野外炊さん等)、調理実習等、講師を招いての教室内活動。 ○通室認定児童生徒 小学生0名、中学生4名、計4名。 相談は他にもあり。</p>
			●															

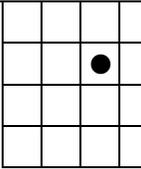
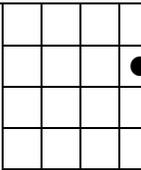
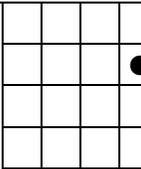
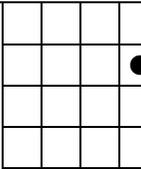
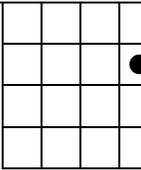
<p>志育成型学校活性化事業 (県指定校：香長中学校)</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○平成27年度から香長中学校が研究指定を受ける。中学校における生徒指導上の諸問題を解決するために、学校経営の中に生徒指導の視点を位置づけ、RPDCAサイクルに基づく改善を進め、すべての生徒が安心して過ごせ、夢や志、自信をもてる学校づくりを行うことで、生徒指導上の諸課題の改善を図る。</p>
			●											
<p>道徳科研究指定校事業 (県指定校：岡豊小学校) ※新規事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○研究テーマ：道徳科の趣旨を踏まえた指導方法の工夫・改善と評価の在り方に関する実践研究により、誠実に価値と向き合い、道徳としての問題を考え続ける児童の育成</p> <p>○取組項目①道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実 (各学年の別業、年間指導計画に基づく取組の検証)</p> <p>②道徳科の趣旨を踏まえた授業研究(指導方法、評価、新たな内容項目について)</p> <p>③公開授業研の実施(年間7回) 5月11日(水)、6月22日(水)、7月6日(水)、9月14日(水) 10月12日(水)、11月17日(木)、12月13日(火) ※南国市道徳教育研究協議会を兼ねて実施。</p> <p>④県内教育機関等への取組・成果の普及(学校だより等で取組や取組の成果と課題、道徳教育ハンドブック等の内容について発信)</p> <p>⑤家庭・地域と連携した道徳教育の推進 (全学級公開による道徳参観日を実施【10月】)</p>
			●											
<p>中学校組織力向上のための実践研究 校事業(縦もち) (県指定校：香長中学校) ※新規事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○研究テーマ：主体的に学び合い、自ら考え、表現する生徒の育成</p> <p>○取組項目 ①組織として課題解決に向かう仕組みの構築</p> <p>②教科主任会の総括と効果的な運用</p> <p>③教科部会の活性化と計画の進捗管理(数学科・国語科)</p> <p>④若年教員の育成と日常的なOJTの充実</p> <p>⑤ねらいを明確にした授業づくりの共有</p> <p>※組織力向上エキスパート訪問による指導・助言(福井県の元校長)</p>
			●											
<p>④健康で豊かな生活を拓く保育・教育の充実</p>	<p>成果度 →重要度</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				●									<p>○南国市食育推進計画(行動計画)に基づき、各校の特色ある食育を推進。</p> <p>○食の自立をテーマに、高学年においては、「お弁当づくり」を実施。</p> <p>○指定校(単年度指定)：国府小。 ・3月に食育の取組をまとめたリーフレットを作成予定。</p> <p>○食育フォーラムIN南国を2月4日に開催し、学校のみならず保護者や地域とともに食育の力について学んでいくようにする。</p>
			●											

<p>米作り親子セミナー</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○農業体験を通して、景観・環境保全を含めた棚田での稲作農業の位置づけと重要性について学習するとともに、学校給食米の生産現場を親子で確認して生産農家との交流を通じて農業と食育への理解を深める。今年度は大篠小5年生を対象に行った。 ○場所：上倉学習田 内容：田植え体験5/30、稲刈り10/3 ○参加校：田植え体験 大篠小(5年2・4組、保護者) 稲刈り体験 大篠小(5年1・3組、保護者) ○米作り親子セミナー交流会(試食会)：12/5大篠小で実施。収穫したお米と、家庭科の「米とみそ」の学習とを合わせての調理実習。さらには、学習発表会で取り組んだ合奏を披露した。</p>
<p>実践的防災教育推進指定事業 (指定校：奈路小) ※平成27・28年度県指定事業 (指定校：白木谷小) ※平成28・29年度県指定事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○目的：保育所、小学校が連携し、災害発生時に子ども自身が主体的に安全を確保するための判断力や行動力を育成するための指導方法の研究開発を行う。また公開授業、研究発表会、講演会を通じて、実践的防災教育の普及や啓発活動を進める。 ○地域や関係機関との連携防災実践委員会の開催(年間3回)。 ○防災意識アンケートの実施(年間2回)。 ○効果的な避難訓練の実施(様々な場面や状況を想定して複数回実施【8回】)。 ○防災年間計画及び防災マニュアルの見直し。 ○指導方法の開発・普及・・・高知県安全教育プログラムを活用した防災の授業の実施。 10月までに、低中高学年全てで、防災学習授業研を行った。 ○実践的防災教育推進事業の研究発表会(白木谷小学校11/27(日)授業研・講演会)を行い、高知県学校防災アドバイザーの松岡 雅士様から、「南海トラフ巨大地震と土砂災害・孤立に備えよう～学校・地域・家庭が連携した防災教育～」と題して講演会を実施。 ○実践的防災教育推進事業の研究発表会(奈路小学校1/24(日)授業研・講演会)を行い、高知県工業高等専門学校 環境都市デザイン科学科長岡林宏二郎様から、「大雨や地震による土砂災害」と題して講演会を実施。</p>
<p>長期集団宿泊訓練推進事業 (指定校：十市小) ※新規事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○十市小学校は10/5(水)～10/8(土)で、幡多青少年の家を拠点とした長期集団宿泊訓練を計画したが、10/5は台風の影響で6日からの2泊3日で実施した。 ○学習指導要領等を踏まえ、体験活動を適切に教育課程に位置づけるとともに、体験活動前後の児童の意識の変容についてアンケート調査等を実施し、体験活動による成果を把握する。また、対象児童の保護者にも、本事業にたいしてのアンケートを実施する。 ○活動は、「川エビの仕掛け作り」「キャンプファイヤー」「川漁師からの話とともに、鮎のしゃくり体験・投網体験」「鮎の干し物づくり」「カツオ漁体験(五目釣り)」「佐賀ソルトビーでの塩づくり体験」を当初は計画していたが、台風の影響で短縮された。</p>
<p>⑤子ども一人一人を大切に する特別支援教育の 充実</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○親育ち・特別支援保育コーディネーター1名を8月1日から教育委員会事務局に配置した。 ○9/28に第2回親育ち・特別支援保育コーディネーター研修会(県西庁舎にて実施)に、コーディネーターとともに担当指導主事も出席した。その中で先進的に取り組まれている市町村の取組を学んだ。 ○SSWとも連携しながら、保育園・所等を訪問し、幼児の見取りを行い、記録簿も残していく。さらに、就学相談担当指導主事との情報共有も行き、就学指導(教育相談)にも提供された情報を活用していく。</p>

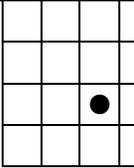
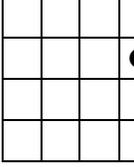
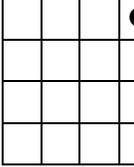
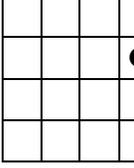
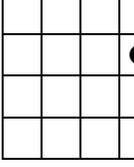
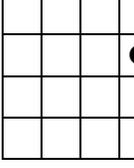
<p>南国市障害者教育支援委員会</p>	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○対象：管内の平成29年度就学予定者の幼児および小中学校の児童生徒。 ○目的：実態に応じた適切な就学支援および教育支援を行う。 ○内容：所属長会（構成メンバー保育所長・幼稚園長・学校長）で活動内容や計画を伝え、就学指導の目的と協力要請を行う。今年度も保健師もオブザーバーとして参加。 ○方法：所長・園長との連携 → 保護者等と面談 → 教育相談の実施 → 保護者への結果説明と意思確認 → 教育支援委員会での判定と助言 → 保護者との最終面談（最終意向確認） → 特別支援学級入級への編制計画の作成。 ○第1回教育支援委員会（8/19） 第2回教育支援委員会（10/14） 第3回教育支援委員会（1/31 予定）約40名（前年度約50名）判定。</p>
			●															
<p>特別支援教育支援員の配置</p>	<p>成果度 ↓</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p>				●													<p>○南国市立幼稚園および小中学校に在籍する発達障害（学習障害〈LD〉、注意欠陥/多動性障害〈ADHD〉、高機能自閉症など）等、学習や生活において教育上特別な個別の支援を必要とする児童生徒に対して、担任と共にサポートするための特別支援教育支援員の配置。 ○管内小中学校14校に20名配置（平成27年度：22名）できたが、個別の支援を要する児童生徒が増加していることと、さらに、インクルーシブ教育の理念のもと特別支援学校を選択するのではなく、一般校の入学等を希望される保護者も増え、多様且つ専門的な対応を必要とする学校が増えてきている。 ○本年度「診断・判断のある」児童生徒と「チェックリストにより疑いのある児童生徒」は389名おり、平成26年度には218名、平成27年度には349名からしても、個別に特別な支援・配慮を行っていかねばならない児童生徒が急増してきている。</p>
			●															

(2) 生涯学習に関すること

中項目	小項目	点検・評価																				
①地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進	学校支援地域本部事業	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> <p>○香長中学校区、香南中学校区の2ヶ所で行っている。＜平成23年度から補助金事業（平成20～22年度は委託金事業）＞学校・家庭・地域が連携して子どもの見守り・教育をすることで、地域・家庭の教育力を向上させ、教員が子どもに向き合う時間を確保する取組を行った。本年度は、三和小学校（香長中学校区）でも新たに取組が始まった。</p>					●															
					●																	
家庭教育支援基盤形成事業	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> <p>○家庭の教育力向上を目的とし、安心して子育てできるように支援する事業である。「早ね早おき朝ごはん」運動などの啓発により、子どもの規則正しい生活習慣を身につけ、健康を守ることにもつながる。 ○夏休みに実施している和装礼法親子教室（大篠公民館）では、単に浴衣を着付けるだけでなく、家庭で学ぶ機会の減っている礼儀作法を親子で学べると好評である。</p>					●																
				●																		
②地域住民が主体的に学び楽しむ生涯学習の推進	公民館活動事業	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> <p>○南国市立18公民館（17地区公民館及び中央公民館）の事業支援や施設管理を行っており、平成27年度の17地区南国市立全公民館利用者数は、延べ109,748名である。 ○公民館は、地域住民にとっての身近な生涯学習施設というだけでなく、「地域コミュニティの拠点」としてもその役割が期待されている。地区公民館では、三世代交流や文化祭、講演会や各種サークル等、それぞれの地域性が生かされた事業が行われている。 ○公民館は、災害時の避難所に指定されており、「地域の防災拠点」としての役割も担っている。平成24年度に奈路防災コミュニティーセンター、平成26年度に三和防災コミュニティーセンター、後免町防災コミュニティーセンター、平成28年度に前浜防災コミュニティーセンターを建設した。</p>					●															
					●																	
成人式	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">→重要度</p> <p>○新成人の新しいスタートを式典とアトラクションで祝福し、社会人としての認識を高めることを目的に、例年1月3日に式典を開催している。 ○式典に登壇する4名の成人代表者は、南国市立各中学校より選出し、記念品贈呈と20歳のメッセージ（挨拶）にご協力いただいている。来賓には、新成人の小学6年及び中学3年時の担任教師もお迎えし、貴重な交流の場となっている。 ○本年度の対象者は、学齢により、平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた市民の方で、男性332名・女性242名 合計574名（平成28年12月1日住民登録数）であり、本年度は400名程度の出席があった。</p>					●																
				●																		

	<p>楽しい生きがいづくり講座</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○スポーツや趣味の講座は、「NPO法人まほろばクラブ南国」に委託している。 ○高校・大学との連携ということで、高知東工業高校・高知高専・高知大学農学部と共に毎年講座を実施している。市民には好評で、リピーターも多い。 ○エンジョイ・イングリッシュ!とにかく英語を使ってみよう!(英会話)も好評である。</p>
	<p>高齢者教室事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○65歳以上の南国市民のうち希望者を対象に、市内8教室で年10回ずつ開催している。 ○健康教室や歴史教室・環境問題・交通安全など、様々な学習をしている。移動教室等、高齢者にとって 楽しみや生きがいとなっている。 ○平成28年度は、8教室で合計597名の学級生がいる。</p>
<p>③人権尊重の理念の普及・高揚を図るための啓発事業の充実</p>	<p>人権啓発事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○スマイリーハート人権講座(高知県人権啓発活動委託事業) 全4回の講座の実施(10月)により啓発を図った。参加者のべ303名。アンケートによると、満足度は87.4%。(なお、うち2講座は男女共同参画の内容とした) ○広報・人権学習シリーズ掲載 人権啓発広報委員会の委員5名が交代で執筆を担当し、人権について様々なテーマで800字程度のコラムを、広報なんこくに毎月掲載。 ○人権パネル展の開催(7月)、人権カレンダーを作成・配布(高知県人権啓発活動委託事業)</p>
	<p>男女共同参画推進事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○南国市男女共同参画推進計画の一環として各事業を実施。 ○スマイリーハート人権講座(全4講座)において、2講座で男女共同参画や女性の人権の視点に立ったテーマ設定を行い、啓発に努めた。 ○ヒューマンパワー育成講座では、基調講演のほか南国市の企業で活躍する女性係長からの事例発表も実施し、働きやすい職場づくりや職場における人権について啓発した。</p>
<p>④魅力あられる市民スポーツの振興</p>	<p>市民体育大会</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○第54回市民体育大会を7/10~11/3の間、17種目、延べ1,302名の参加を得て実施した。近年、生涯スポーツに対する市民の意識は高まっており、今後もスポーツの裾野を広げるために、体育協会と協働し、初心者でも気軽に参加できるスポーツフェアー的な大会として展開していきたい。 ○小中学生の出場できる種目があるものの、参加資格は大人と同じ南国市民となっており、成長過程にある少年競技に関しては出場資格を広げ、競技力の向上と子供たちの意欲の向上につなげていく必要がある。</p>

	<p>スポーツ推進委員連絡協議会等と連携したニュースポーツ及び生涯スポーツの普及・総合型スポーツクラブとの協働</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>										●											<p>○誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツの普及と振興のため、自主事業として「さわやか健康ウォーキング大会」(10月開催 参加者：78人)、「スポーツフェスティバル」(2月実施)を開催している。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブにスポーツ推進委員連絡協議会会長が理事として参加。組織としてイベントに積極的に協力している。生涯スポーツのコーディネーターであるスポーツ推進委員は、総合型クラブにおいて中心的役割を占めており、今後も情報の共有化を図る事が大切である。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」の会員数が1,000人を突破し、県下の会員数を有するクラブに成長。今もなお体育協会、スポーツ推進委員連絡協議会等が協力して、市民や地域に活動の輪を広げている。平成28年12月31日現在45サークル会員数1,094名となっており、昨年同時期に比べ3サークルの増となっている。</p> <p>○今まで別々に活動していた体育関係組織が一つのテーブルについたことで、市民の健康づくりや初心者向けスポーツ教室等のプロジェクトが大きく展開できている。今後も教育委員会との連携した取組が重要である。</p>
				●																			
	<p>体育協会との連携による競技スポーツの振興と競技力の向上</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>					●																<p>○県予選を経て全国大会に挑む団体に対し、全国スポーツ大会参加補助金を助成している。選手の励みにもなるので継続的な取組は必要と考える。</p> <p>○小学生駅伝競走大会(11月12日実施)は、26チーム203名の参加があった。</p> <p>○南国市駅伝競走大会は2月実施。</p> <p>○その他、各連盟と連携して相撲大会(参加：20チーム51人)、市長杯南国市小学生野球大会(参加：10チーム)、高知県勤労者剣道大会(参加：65チーム)、高知県柔道大会(参加：37チーム190人)等を開催した。</p>
				●																			
<p>⑤地域における青少年健全育成活動</p>	<p>補導活動</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>					●																<p>○登校補導については月6回を基本に実施し、また下校補導を随時実施している。</p> <p>○夏期の祭り補導及び南国警察署補導員との合同補導を15回実施した。</p> <p>○南国保護区保護司会と合同で、補導・防犯パトロールを実施した。</p> <p>○後免町タウンポリス夜間巡回パトロールへ参加し、防犯活動を行った。</p> <p>○不審者情報等があれば、随時その地域の巡回パトロールを行った。</p>
					●																		
<p>相談活動</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>					●																<p>○学校・家庭等からの不審者情報を受理し、情報の発信や南国警察署との連携に努めるとともに青色回転灯パトロールを実施した。</p> <p>○スクールガード・リーダーと連携を図りながら、児童生徒の安全確保に努めた。</p>	
				●																			
<p>環境浄化活動</p>	<p>成果度 <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>					●																<p>○市内に5ヶ所設置されている「白いポスト」に投函された有害図書及び有害ビデオ・DVD等の回収を行った。(有害図書78冊、有害ビデオ・DVD215点を回収)(11月末日現在)</p> <p>○JR後免駅の駐輪場の整頓を行い、環境浄化に努めた。</p>	
				●																			

	<p>調査研究活動</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○補導教員・補導専門職員合同連絡協議会主催の研修会、高知県少年補導育成センター連絡協議会及び東部ブロック会、四国地区少年補導センター連絡協議会「高知大会」、全国青少年補導センター連絡協議会「鹿児島大会」に参加し、健全育成及び非行防止について総合的に研究を深めた。</p>
	<p>広報活動</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○子ども・若者育成支援強鑑週間パレード（11/4：70名）、南国市補導委員会・南国地区少年補導員連絡協議会合同年末非行防止パレード（12/2：48名）など、啓発活動を実施した。また、南国市更生保護女性会と合同で青色回転灯パトロールを実施し、下校時の子ども達の見守りを行った。 ○少年育成センター便りを発行し、青少年健全育成の啓発を呼びかけた。（3月発行）</p>
	<p>健全育成活動</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○南国市青少年健全育成大会（9/3：参加者122名）では、小学生・中学生・高校生合計14名の意見発表と善行団体表彰を行い、健全育成に対する理解と関心を深めた。 ○南国市子ども会連合会は、カヌー教室、ドッチビー大会、人形劇キャラバンなどを継続的に実施した。</p>
<p>⑥心を育む読書活動の推進、住民の求める情報の提供</p>	<p>図書館活動</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○資料提供、調査研究、学習支援の充実に努めた。 ○移転開館10周年を記念して、図書館友の会主催で子どものためのおはなし会を開催した。 ○第8回図書館まつりを開催した。 ○1年間を通じて古文書講読講座を計16回開催した。 ○図書館に親しみを感じてもらえるよう、岡豊高等学校・高知東工業高等学校協力のもと図書館マスコットキャラクターを作成した。</p>
<p>⑦地域性豊かな市民文化の創造</p>	<p>美術展覧会開催</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○第56回南国市美術展覧会を12/11～18に実施し、一般の部展示数242点、幼児・児童生徒の部展示数4,025点、入場者数4,232人であった。 ○展示作品に幅をもたせる為、招待作品の展示などの案も実行委員会で論議されるが、招待対象者や作品、招待方法が具体的に決定できず、今のところ現状維持となっている。 ○本年度から、幼児・児童生徒の部で『お話の絵』が新しくでき、8部門となった。</p>
	<p>文化財の保存、活用事業</p>	<p>成果度 →重要度</p> 	<p>○文化財審議委員会を開催し、将来にわたって残すべき文化財の指定を行っている。 ○市内の指定文化財を年2回パトロールして、保存状態などを確認している。 ○指定文化財を訪れた人が分かりやすいように説明看板を設置し、適宜補修をしている。 ○文化財を広く知ってもらうために広報紙への掲載や、出版物を作成して配布や販売を行っている。 ○後川流域のエンコウ祭調査委員会を設置し、エンコウ祭の詳細な現状記録および民俗学的調査を行っている。</p>

<p>オナガドリ保護増殖事業</p>	<p>成果度 <table border="1" data-bbox="884 76 1030 239"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>										●											<p>○国の補助事業を受け、種の保存と増殖に関わる研究や飼育者の負担を軽減するために飼料の配布事業を行っている。</p> <p>○パンフレットの作成・配布や大篠オナガドリ保存会と協力して各種イベントでの展示などを行い、啓発普及するとともに新たな飼育者の募集を行っている。</p> <p>○オナガドリの飼育と保存の労に報いるため、飼育報奨金を給付している。</p> <p>○優良種の作出に寄与するため、DNAの解析成果をもとにした人工授精を行う。</p>
				●																		
<p>市内遺跡発掘調査等事業</p>	<p>成果度 <table border="1" data-bbox="884 327 1030 489"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>										●											<p>○各種開発行為から市内の遺跡を保護するために、情報収集、事業者との協議、試掘確認調査、工事立会などを実施している。</p> <p>○市内の重要遺跡の範囲や内容を確認し、保存と将来の史跡整備に向けての資料の蓄積を行っている。調査成果は現地説明会の開催や発掘調査報告書の作成、広報紙への掲載等により広く伝える手段を講じている。</p> <p>○史跡土佐国分寺の寺域を確認し、将来の追加指定を目指すために、試掘確認調査を実施した。</p>
				●																		
<p>文化財講座の開催</p>	<p>成果度 <table border="1" data-bbox="884 590 1030 753"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>●</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→重要度</p> </p>										●											<p>○郷土学講座を開催し、文化財についての興味関心を育てるとともに、知識を得る場としている。本年度は「長宗我部地検帳の世界」と題して講座及びフィールドワークを行った。参加者33名。</p> <p>○歴史学講座を開催し南国市の歴史に関する学習の場とした。本年度は長宗我部氏と一条氏の関係をテーマとして開催。最終回には南国市周辺のゆかりの史跡を訪ねた。参加者29名。</p>
				●																		

総合評価

1. 「1 教育委員会の活動」及び「2 教育委員会が管理・執行する事務」について

○全般的に見て、概ね取組ができています。

○取組の状況について

- ・幼稚園・学校訪問（計画訪問、運動会、各種研究発表会等）への取組が積極的にでき、現状把握・支援を継続して実施している。訪問後は「学校訪問集約会」を行い、協議内容について指導の徹底を図っている。
- ・保育所（園）の訪問（計画訪問、各種行事等）について、本年度は、後免野田保育園の訪問を行った。所管は、子育て支援課だが、保育所（園）の訪問は積極的に順次訪問し、現状の把握に努める必要がある。その他の所管施設の訪問も継続して実施していく。
- ・研究会や教職員育成のための留学生も継続して推薦し配置できている。
- ・4月の南国市教育研究大会において、南国市の教育振興基本計画や教育行政方針について教職員に周知できたことは意義があったと考える。特に、他の市町村からの転入教職員にとって、行政方針を年度当初に聞くことは、大きな意義があったと考える。
- ・学力向上スーパーバイザー制度は、大変評価できる。今後増加していく教職員の若年者層にとってより向上心を高められるものであり、指導主事・管理職との一層の連携が必要になる。また、今年度も、特別支援教育支援員やICT支援員等を配置でき、学校の様々な課題に取り組むことができている。
- ・南国市公立学校通学区審議会では、大篠小学校の歴史や住民の思いなどを知ることが出来たし、校区変更の難しさも理解できた。将来の人口変動を見据えたうえで、大篠小学校隣接校選択制度は賢明であったと考える。また、児童数減少の小学校にとっても特色ある学校経営をアピールできる絶好の機会でもあった。
- ・教育委員の自己研鑽では、教育実践家の菊池省三氏を招き、岡豊小学校の児童に実際に指導していただいて、理論を語ってもらう機会を得たことは大変有意義であった。

2. 「3 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務」について

(1) 就学前の保育・教育、学校教育に関すること

①就学前の保育・教育について

○全体的に概ね良好であり、取組ができています。

○取組の状況について

- ・保幼小連携プログラム（アプローチ・スタートカリキュラム）の取組について、全ての保育所（園）・幼稚園で推進できており、成果が見られる。所属長会等の取組も充実してきており、保幼小中の交流や連携が図られてきている。今後も、さらに取組の充実を図っていく必要がある。
- ・スクール・ソーシャルワーカーも保育所（園）・幼稚園で支援が出来るようになり、多様化する保護者の対応等への積極的な取組ができるようになっている。その他の事業の推進についても、概ね取組ができていますが、内容の充実とともに現状を十分に把握し、課題改善に取り組む必要がある。

②学校教育について

○全般的に見て、概ね取組ができています。重要課題への取組に成果が見られ評価できる。今後も学校・家庭・地域が連携した課題解決への積極的な取組が必要である。

○取組の状況について

- ・幼小中とも安定しており、優れた成果をあげた学校もあるが、義務教育15年を見据えた各中学校ブロックの取組とともに、各学年段階での取組について一層の充実を図る必要がある。
- ・南国市小中連携学力向上推進プロジェクト事業（3期9年間（平成20～28年度））の取組について、各中学校ブロックで小中での連携を図った課題解決（「学力向上」、「人権教育を基盤とした生徒指導」）の取組に成果をあげることができた。今後も課題を明確にし、解決に向け充実した取組に努める必要がある。
- ・各校の取組では、成果も見られるが一部課題もある。学力向上、体力向上では成果も見られるが、生徒指導・不登校対策等の取組について、一層の充実と推進が必要である。今後も教職員の指導力の向上と家庭との連携による家庭学習への積極的な取組が必要である。さらに、教職員の大規模な世代交代が目前に迫っており、対策が必要である。
- ・文部科学省・高知県の指定の研究推進・研究協力校の取組に本年度も積極的であり、全般的に成果が見られ評価できる。
- ・「地域ぐるみの防災教育」における研究成果等をもとに、全市的な防災教育の取組を推進していく必要がある。
- ・南国市立教育研究所の運営による南国市教育研究会の取組は、年々充実しつつあり、本年度の学力向上、指導力の向上の成果として評価したい。また、研究所だよりの積極的な発行により、南国市全体の学力向上や不登校児童生徒への取組等の進捗がより詳しく分かるようになったことは評価できる。
- ・各中学校の生徒会及び部活動は活発であり、成果も見られ評価できる。
- ・食育については、管内すべての小中学校で「食に関する指導」の全体計画に基づいた取組が実施できている。中学校給食についても、中学校給食センター整備計画に基づき実施できているが、中学校給食の開始を視野に入れた食育の充実・改善を図っていく必要がある。また、スーパー食育スクール事業（平成27・28年度文部科学省委託事業）で、食と学力との関係や生徒指導との関係性を見出そうと新たな取組を行ったことは評価できる。また、地域との連携においてもこれまでの南国市のよさを大いに発揮できると思われ、生活科・総合的な学習の時間のみならず、各教科等の指導力向上に向けて教職員が取り組むことにより、食と学力の関係性がより明確になっている。さらに、今後も、学校・家庭・地域との連携の大切さや役割を明確にしていく必要がある。
- ・特別な配慮等を必要とする児童生徒の増加への対応については、合理的配慮を進めるなど丁寧な取組と、迅速な対応が必要である。
- ・教職員の世代交代が進んでいる。今後安定した状態が続くようにするためには、ミドルリーダーの育成が急務である。管理職と学力向上スーパーバイザーや合理的配慮協力員などが連携して取り組んでいく必要がある。

(2) 生涯学習に関すること

○各事業の推進についても概ね取組ができています。より一層の充実を図りたい。

○取組の状況について

- ・学校支援地域本部事業やスマイリーハート人権講座・スポーツ振興と競技力の向上、更には健全育成活動等に積極的な取組と学校・家庭・地域が連携した活動で成果をあげており評価できる。
- ・その他の各種事業、研修会等もその取組において一定の成果をあげているが、一部の事業や活動において、取組の充実を図るとともに周知徹底と市民の積極的な参加に向けた取組が必要である。
- ・総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」の会員数が1,000名を突破し、県内一の会員数を有するクラブに成長してきている。各種団体と協力した活動もできている。また、今まで別々に活動していた体育関係組織が一つのテーブルに着いたことで、市民の健康づくりや初心者向けスポーツ教室等のプロジェクトが大きく展開できている。さらには、生涯スポーツ全体の普及が進んできている。今後も市教委との連携が重要である。
- ・青少年の健全育成活動は、地道な啓発活動を継続することが重要である。特に、健全育成大会は例年充実した内容で実施されており評価できる。
- ・本年度は、前浜防災コミュニティセンターが完成した。今後も、地域の防災及びコミュニティの拠点となる施設の整備・充実を図っていく必要がある。
- ・心を育む読書活動の推進・住民の求める情報の提供においても市立図書館を中心にきめ細かく対応できていることは評価できる。
- ・人権に関する取組や青少年の健全育成、市民スポーツの振興など、今までの取組による成果は評価できる。
- ・市内遺跡発掘調査等事業・文化財講座の開催等郷土の歴史について息の長い取組をしており、市民の関心を高める動きが継続して行われていることは評価できる。
- ・南国市美術展覧会の表彰式は、南国市民の手による感動的なものになっている。また、実行委員会の方々と市行政の連携のもと、もらって誇りに思える賞となっている。さらに、南国市の文化レベルの向上に寄与できている。高校生の出品数が増えていることは素晴らしいので、卒業しても続いて出品できるような仕組みが必要である。

3. その他

- ・南海地震に備えての震災対策が喫緊の課題である。各保幼小中で自然災害に対する防災教育の充実と地震・津波に対する対策（避難場所・避難経路・避難訓練（複数回実施））に積極的に取り組んでいることは評価できる。今後も、全市的な防災教育や危機管理マニュアル、学校・家庭・地域が連携した防災の取組等の充実・改善とともに、防災・減災に対する意識づけを図っていく必要がある。
- ・児童虐待への対応については、二度と繰り返さないという強い決意を持って、「子どもの命を守る」という共通認識のもと、関係機関との連携を密にしていることは評価できる。今後も、早期発見・児童の安全の確認・安全の確保を徹底することを基本に、南国市要保護児童対策地域協議会等による個別ケース会への積極的な参画を図る等、迅速かつ適切な対応に努めており今後も継続していく必要がある。

- ・いじめ防止への取組については、「南国市いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域が連携した取組の推進を図っていく必要がある。児童虐待への対応と同様に迅速かつ適切な対応を行っていく必要がある。
- ・南国市人権教育研究会の際に全教職員に「みんなで守る大切な命」と題して自殺予防の教育を行い、また12月にも「ゲートキーパー養成研修」を行ったことは大変評価できる。今後も、ゲートキーパーの更なる研修が必要である。
- ・学校、適応指導教室、スクール・ソーシャルワーカー、不登校支援員などが不登校対策に取り組んではいるが、不登校児童生徒数が増えていることは気になる。具体的な実態把握により、地域や関係機関と連携をより密にして対応していく必要がある。